

「自治体インフラメンテ事業化研究会スタート」

皆川 勝

サービス提供部門と協力して標記の準備会を設置し、土木学会・教育企画人材育成委員会・シビル NPO 推進小委員会と共同で、千葉県を主な調査対象地域として、国土交通省、自治体、NPO 等へのヒアリングを実施し、NPO としての貢献のあり方を検討してきました。前回の概要に引き続き、個々のヒアリングの概要を順次ご報告します。今回は、NPO 法人建設技術監査センター、千葉県庁県土整備部および国土交通省道路局環境安全課です。

**NPO 法人建設技術監査センターへのヒアリング**

五穀章理事長へのヒアリングを平成 26 年 10 月 10 日(金)に実施した。堂本知事(当時) NPO 支援の方針の下、千葉県の支援の下で率先の良いスターを切った。技術士、建築士、工学博士などの有資格者を中心に監査業務に必要な人材を組織し、特に、中小の市町村を中心とした工事監査業務で信頼を得ることができた。それらの自治体の職員への研修の実績が個人的にあり、結果として、教え子が各自治体に存在していたことが大きかった。NPO の競争が激化しており、他県の NPO の参入もある。汗をかける技術者を分野ごとにそろえることが大切であるが、業務のある自治体に乗れ込んで営業的な活動をしない仕事はやってこない。NPO とコンサルタントとの WIN-WIN 関係の構築は容易ではない。

千葉県庁県土整備部へのヒアリング

永田健部長へのヒアリングを平成 26 年 10 月 16 日(木)に実施した。千葉県道路メンテナンス会議におけるアンケート調査や地域におけるグループ討論の結果、技術者不足、技術力不足から円滑な点検が困難な状況と約 8 割の市町村は橋梁点検業務の一括発注を希望していることがわかった。公益財団法人千葉県建設技術センターには県 OB がおり、発注者支援、技術支援が可能である。NPO 法人がどのようにこの問題に関わってゆくかについては、この段階では検討されていない。

国土交通省道路局環境安全課へのヒアリング

池田豊人課長へのヒアリングを平成 26 年 10 月 16 日(木)に実施した。市町村が管理する全ての道路橋等を 5 年に 1 回の頻度で近接目視点検することを義務付け、計画的に点検が実施されるよう点検計画の策定をめざす。各県の道路メンテナンス会議(県、地整および市町村が参加)で検討してもらっている。このような網羅的な取り組みはこれまでにない。市町村のメンテナンスに国や県が直接かかわる点は、従来と全く異なる。予算も体制も全数調査の結果から考えてゆく。NPO を含め、どのような体制で実施してゆくかという段階にまで、検討は進んでいない。来年度・再来年度になれば本格的に、どのようにやるのかの検討が進むであろう。まずは今年度末に出てくる計画の結果が重要である。

7 月 8 日に「自治体インフラメンテ事業化研究会」の第 1 回会合が開催されます。メンバーあるいはメールメンバーをご希望の方は今後も受け入れますので、ご連絡をください。

連絡先は (minatororo@gmail.com 皆川勝) です。

平成 27 年 7 月。